

広報

えりも

2011

8月号

№.873



干場いっぱい広がるコンブは、えりもの夏の風物詩

「えりもの夏」、始まりを告げるサイレン

今年のコンブ漁、えりも岬で始まる

えりも岬のコンブ漁が7月11日に初日を迎え、浜ではサイレンと共に船外機の音が鳴り響き、「えりもの夏」到来です。

船から揚げられたコンブは、早く乾くようにと、子どもからお年寄りまで家族総出で次々と干されていきます。この日のえりも岬は、残念ながらあいにくの霧が立ち込め、コンブの乾きは今ひとつでした。

この時期は、浜にまちに活気がみなぎるときです。

防災意識の継続を

相互協力フォーラム「大津波そのときあなたは？」

三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）からもうすぐ四か月を迎えるこの時期、改めて当時を振り返り、将来の災害発生に必要なものは何かを考えるフォーラム「大津波 そのときあなたは？」―三・一一をふりかえって―が六月二十八日、福祉センターで町民ら約四百人が参加して開かれました。



沖出しは安全か

今回初めて開催するこのフォーラムは、えりも町と北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター（以下「北大地震火山研究観測センター」）が三月に締結した相互協力協定に基づいて開いたもので、NHK室蘭放送局と室蘭地方気象台が共催しました。

フォーラムは、NHKによる三陸海岸を襲う津波映像から始まり、司会の鶴羽佳子アナウンサーの進行で三部構成のビデオが上映され、東北地方の惨状やえりも町民への震災当時のインタビュー、室蘭気象台の職員による地震や津波の発生原因など



パネルディスカッションのパネリスト4名。岩本溥叙町長（左上）、平野正男えりも漁協代表理事組合長（右上）、渡部泰えりも岬第3自治会長（左下）、浜波賢新浜自治会長（右下）

の説明が会場に流れました。特に三部目には鶴羽アナウンサーが「津波は引き波から始まるのか」「津波予測は困難なのか」「沖出しは安全なのか」などと気象台職員に質問し、職員は引き波については科学的根拠がない俗説であること、予測についてもプレートのはずれ具合がわからないため困難であると答えていました。また、船の沖出しは安全海域までたどり着ければ有効と話し、自宅から船までの時間と安全海域までの時間が確保できるかどうかを鍵として、東北では地震とほぼ同時に津波が発生している現状を挙げていました。

映像を終えたあと、NHK室蘭放送局の三品和広局長は「災害の情報

を正確にわかりやすく伝えることが私どもの使命」と挨拶し、緊急放送を防災に生かしてほしいと呼びかけました。

自助・共助・公助

特別上映後のシンポジウム冒頭の挨拶で岩本溥叙町長は、震災時の町の取り組みと課題を挙げた後、昨年十一月開催のサイエンスカフェや避難訓練などで、町民に防災意識ができて、人命まで被害が及ばなかったのではないかと話しました。

基調講演は、北大地震火山研究観測センター長の谷岡勇市郎教授が「東北地方太平洋沖地震の概要とえりも町の将来の津波可能性」をテー

えりも町の地震、津波被害

①明治29年6月15日

三陸沖で発生した津波が、幌泉郡（当時）と十勝沿岸に襲来。死者4名、家屋や漁船破壊などの被害。

②昭和8年3月3日

三陸地震津波が発生し、幌泉村（当時）一帯が強震。その後3回の津波が襲来し、庶野、目黒地区を中心に死者13名、負傷者56名、家屋や漁船などが被害。

③昭和27年3月4日

十勝沖地震が発生し、地震後約5分で津波の第一波が襲来。重傷者3名、住宅や漁船の被害。

④昭和35年5月24日

チリ地震の影響で、未明に津波が突如襲来。庶野漁港区に係留中の動力船が被害。

⑤平成15年9月26日

十勝沖地震が発生。軽傷者2名、住宅や漁船が被害。



パネルディスカッションのコメントーターを務めた北大地震火山研究観測センター長の谷岡勇市郎教授（右）と室蘭地方気象台の高橋俊二台長（上）。谷岡教授は基調講演も行いました。



パネルディスカッションは、同センターの定池助教がコーディネーターを務め、岩本町長、えりも漁協の平野正男代表理事組合長、えりも岬第三自治会の渡部泰会長、新浜自治会の浜波賢会長の四人が、谷岡教授や室蘭地方気象台の高橋俊二台長に震災発生当時の対応を話し、今後の対策や課題を議論しました。

岩本町長が、災害対策本部の設置や避難住民の健康管理、臨時ごみ置き場の設置などといった町の対応を述べたあと、平野組合長が沖合いに避難した漁船が津波警報の長期化によって食糧不足に陥ったことを挙

震災を教訓に

マに話しました。ビデオ映像を交えながら東北を襲った震災発生メカニズムを解説し、その津波がえりも町へどのように押し寄せたかを説明しました。また、地層に残る痕跡などから太平洋沿岸に約五百年周期で巨大地震・津波が発生していることに触れ、前回は約四百年前であることから「いつ起きても不思議ではない」と話し、避難路などを確認し自分や家族を守る「自助」、隣近所で防災を考える「共助」、津波ハザードマップの整備などの「公助」の大切さを説きました。

浜波会長が話し、消防団や自治会役員が高齢者への避難サポートに当たったことを話しました。

高橋台長は、「津波情報は『日高中部』といった広範囲に渡る表現になるため、到達する時間は地区によってばらつきがある。まずは高台への避難を心がけてほしい」と話し、谷岡教授は、「えりも町で高齢者への対応などが適切に行うことができたのは、防災意識が高い証拠と言える。今回の震災を教訓として、風化させずに防災意識を継続してほしい」と議論を締めくくりました。



北大地震火山研究観測センターの定池祐季助教

げ、現在は数日分を船に備蓄していることを報告しました。

また、渡部会長は地震発生後すぐに連合自治会と漁協実行組合が連携し、避難所へ高齢者を誘導したことを伝えました。

昨年、避難訓練を行った新浜自治会では、訓練の成果が生かされた

学童保育の実施

◆質問 保護者が仕事などで昼間家庭にいない小学校の児童に対して保育をする「学童保育」について、当町で行っていない理由は何か。今後、実施する予定はあるか。

●答弁 当町でも「学童保育」に関わる国の補助事業の検討を進めてきたが、活動拠点が空き教室などに限定され、確保が困難であること、また、指導監督する専門職員の配置も難しく、実施を見合わせていた。

現在、学童保育を行っている様子を視察し、諸課題について助言をいただき、本年度、「学童保育」についての問題点や今後の対応について協議し、実施に向けて問題点の解決に向けて検討している。

◆質問 来年四月一日から実施するとして考えているのか。

●答弁 検討中であるが、その方向で考えたい。

吉田和正議員

介護施設の充実について

◆質問 グループホームなども含めて、町外の介護施設を利用していただく方はいらっしゃいますか。そのうち、

定例町議会

▶▶▶ 一般質問

6月定例町議会の一般質問は、5人の議員から14件の一般質問がありました。

今月号では、そのうち5件の質問を内容を要約してお知らせします。残りの9件については、来月号に掲載します。

がない状況ということなのか。現在の実際の必要床数はどれくらいと考

えているのか。
●答弁 当計画における特養ホームや老人保健施設などの施設サービス利用量は、「要介護二・五と認定されている方の三七割」が目標として設定され、それに地域の実情などを考慮して推計されたものである。

このため、特養ホームの必要床数は、入所が必要な方とまだ大丈夫といった考えで算出されたものではないので、明確には答えられない。

◆質問 来年度から第五期の計画が開始されるが、必要床数や施設整備計画は町独自に盛り込むことが出来るのか。また、新規の総整備枠はどのような形で決められるのか。第四期のように枠数が余っている場合、当初計画にはない施設整備を後で追加することは可能なのか。

●答弁 平成二十四年度から三か年の第五期計画は来春までにまとめる予定であるが、今後、必要なサービス量を推計し、この中で施設整備の方針も明らかにしていかなければならない。

しかし、全体的な目標数値が先にあつての話であり、必ずしもその町の希望どおりに施設整備ができるというものではないことをご理解願

たい。また、計画にない施設整備は不可能ではないが、計画策定時に盛り込むことが原則である。

◆質問 仮に特養ホームを新設する場合、一床当たりの建築費はおよそどれくらいか。補助制度についてもその内容を。また、新たな特養ホームの設備は介護保険料や入所費用にどのような影響を及ぼすのか。

●答弁 やまと苑のような「広域型」と言われる施設では、北海道の単独補助がある。また、入所者を町民に限定した二十九床未満の「地域密着型」であれば国の交付金制度があり、整備する床数×四百万円が基準額となつている。この基準額は百割交付されるが、各部屋は個室型に限定され、実際の建設費と照らし合わせる

ると三割程度の助成にとどまると考えられる。
補助制度については現時点のものであり、国の施設整備の方針や道の財政状況によっては制度の改廃があることをご承知願いたい。

また、施設を整備すると介護給付費が増えることになるので、必然的に介護保険料の上昇につながる。個人の入所費用も個室型で整備された場合は、現在の多床室に比べると高くなる。

◆質問 仮にやまと苑を増床する場

合は、建設費用はどれくらいになり、また該当する補助金はあるのか。新設と増床では認可の基準に違いがあるのか。もし、個室型を新しく整備するというになると、従来型に加えて何割ぐらい建設費というのが高くなるのか。

●答弁 社会福祉法人の事業に対して町が申し上げることができないが、一般的な数字で答えれば、十床の増床と考えると建設費は概算で一億円近い数字になるであろうと考えられる。さらに、既存の施設の改修が必要であれば、大きく増加することになる。

個室型は、従来のものと比べると一人当たりの面積が広くなるため、建設費が高くなると考えられる。しかし、建設費については、補助の付き方、社会福祉法人の資力によってかなりグレードに差が出ているので、具体的な建設計画を立てていかないと、それらの数字が出てこないと認識している。

補助については、北海道単独の補助金があり、この制度は整備床当たり三百六十五万四千円が基準となるが、採択枠は狭く、さらに個室型でなく従来型の増床であれば、採択順位はさらに下がることとなります。

◆質問 国の政策は居宅介護を重視

する方向のようだが、家庭の事情などから地元施設の介護を望む声は多い。もちろん、新たな施設を作るには検討すべき課題は様々あるが、施設整備についてのこれからの町の意見を伺いたい。

●答弁 ここ数年で重度の方や、特



入所希望者が多い特別養護老人ホーム
やまと苑

養ホームの入所を希望されている方が増加しており、重要な課題であるとの認識をもっている。しかしながら一方では、スタッフの確保といった難しい課題もある。いずれにしても、新しい計画を策定する段階で、町民みなさんの意見をお聞きしながら検討したいと考えている。

◆質問 やまと苑については、いろいろな経緯があり、道の方から増床

は認められないという話を伺ったことがあるが、そのような事実はあるか伺いたい。

●答弁 やまと苑の増床が認められないという話が過去にあったかどうかは確認できないが、今回の計画の策定や議員のご質問について、当町と振興局とのやり取りの中、特段そういう危惧は示されておらず、希望した場合は経過説明も受けている状態である。

◆質問 やまと苑を増床する場合は、新たに建てる場合に比べて割安に済むが、町民みなさんの負担が大きくなるというリスクもある。第五期の計画の中に入れられるのかどうか、様々な角度から検討していただきたいと思う。

●答弁 スタッフの問題に加え、施設に関わる医師をどうするのかということもある。財政と医療なども考慮しながら、特養ホームに対しても、施設を増やし、スタッフを増員した場合の影響について検討してほしいと話している。

大坂庄吉議員

災害時の防寒・非常食

◆質問 毛布や非常食の備えはあるのか。また、それらを増やす予定

私のひとこと

かせのまち

えりも町長 岩本博叙

フォーラムを終えて

今、頻繁に発生しています地震、近い将来大きな津波が来ると予想されている中、北大との相互協力フォーラムを開催させていただきました。町民の皆さんを始め、日高管内・管外の多くの方々に来場いただき、お蔭様で大盛会に終えることができました。改めてお礼申し上げます。

地震津波に関する事柄は、新聞やテレビ等で連日報道されています。特に、私たちのまちに直結するものとしては、「五百年周期の巨大地震・津波」、近未来には「襟裳岬に最高二十一メートルの津波到達予想」等々の記事が連日紙面を飾っています。何か

を背負うような毎日ではありますが、防災（減災）対策に一層の努力を傾注してまいります。



は。防寒対策として、敷きマットなどは考えているか。道内他町村の防寒対策や非常食の備えはどのようになっているのか。

●答弁 毛布の備蓄は三百七十枚あり、非常食の備えも三日間九食分を備えている。今後も年次計画を立てて整備をしていく予定である。敷きマットについては、年次計画にはないが、東日本大震災の状況を見ると、敷きマットの必要性も出ている。しかし、当町でそれを早期に導入、検討するかということについては、お時間をいただきたい。

道内他町村の状況だが、潤沢に整備をしているところは少ないと聞いている。

◆質問 避難所の態勢はどのように考えているか。また、避難した方への情報提供の充実を。

●答弁 当町では二十五か所の収容施設があるが、そのすべてが冬季間その場で速やかに暖まることができるとなると、面積的な部分などで、必ずしもそうはなっていない。特に停電時の暖房設備の対策は、限られた予算の中で防災用備蓄品を含めたストーブの設置は難しいものがあるが、北電の「移動発電車」の配置体制と町としての緊急の対応をさらに進めたいと考えている。



旧目黒小学校に備蓄している非常食や毛布

情報提供については、今回の震災時には避難所に職員二名から三名を常駐させた。そこで必要な物などを聞いたりしたが、これからも情報提供を図っていききたいと思っている。

◆質問 避難所は地域防災計画のひとつに入っていると思うが、地域防災計画の見直しの点があればお知らせ願いたい。

また、避難経路の認識不足が予想されるが、それを回避するために地域の方々との情報提供の交流が必要だと思うが。

●答弁 見直しについて、当町では地域防災計画、ハザードマップが整備されているが、この防災計画も道の計画見直しに合わせて、あるいはそれに先行するような形で見直しを

行っていく。

また、この地域防災計画の中には避難経路も載せている。過去、ご家庭に「防災地図」や「我が家の防災」という避難場所、緊急の連絡先などを記載したものを一枚の紙にして配ったこともある。避難場所を設定するときには、地元自治会と場所や整備について協議した経緯がある。

震災後には、新浜地区では実際に避難路の近くで居住される方が、そこを使って迅速に避難できるかどうかの検証も行った。これからは避難路がその地域に適しているかどうかを検討していきたい。もちろん、地域のみなさん、自治会を通じての情報が積極的に寄せられるような態勢づくりも含めて検討していきたいと思っている。

商工会の婚活支援

◆質問 えりも町商工会が婚活のイベント、ツアーなどの事業を窓口となつて企画案を検討して実行することになったが、支援についてどう考えているか。

●答弁 商工会が事業の窓口というよりも、事務局の段階で検討を始めたところであり、これから検討し進めていく段階とのことである。

町としても、産業形態などが類似する地域の取り組みなどを参考にするため、聞き取りなどを行っているところであり、今後も商工会などの情報提供を含んだ連携を深め、進めていくこととしている。

手塚裕警議員

障がい者の利用負担

◆質問 障害者自立支援法では、利用者が利用したいサービスを選び、相談、申請をし、サービス支給の必要性があると認められた場合、サービス支給を行うこととなっている。平成二十二年四月から低所得者の障がい者、障がい児について、福祉サービスや補装具に係る利用者負担が無料になる法改正が出ているが、町民への周知は行わないのか。

●答弁 障がい福祉サービスに係る利用者負担の周知は、町内で提供されるサービスに限られていることなどから、制度改正時にサービスを利用されていた方々への周知のみを行なった。結果的に、潜在的なサービス利用を希望されている方々への配慮が足りなかったと言える。

今後、広報紙などを活用した情報提供も含め、必要な措置を検討していく。

農業委員が決まりました



寺井文秀(選挙)



沼館信夫(選挙)



神田 弘(選挙)



池田日出夫(選挙)



中野芳弘(選挙)



高橋祐之(選挙)



石川昭彦(推薦)



能登 浩(推薦)



佐々木克也(推薦)

三年ごとの農業委員会選挙が七月五日に告示され、立候補が定数の六人だったため、選挙選出議員六人と推薦委員三人が次のとおり決まりました。改選後、初の総会は七月十九日に役場庁舎で行われています。

住所	氏名	備考
大和	沼館 信夫	選挙選出
歌別	寺井 文秀	選挙選出
東洋	池田日出夫	選挙選出
東洋	神田 弘	選挙選出
東洋	高橋 祐之	選挙選出
庶野	中野 芳弘	選挙選出
笛舞	能登 浩	共済推薦
大和	石川 昭彦	議会推薦
歌別	佐々木克也	農協推薦

(選挙・推薦・住所・カナ順・敬称略)

人権擁護委員 大高耕二さんが再任



改選を迎えた人権擁護員に、大高耕二さんが再任されました。人権に関する悩み、戸籍や身分のことでお困りの方は、お気軽にご相談ください。

■連絡・相談先
役場町民生活課
☎二一四六二二
(内線六四一)
大高耕二さん(自宅)
☎二一二一九五

日高海区漁業調整委員 選挙人名簿の登録申請

日高海区漁業調整委員会委員選挙人名簿は、漁業者本人(世帯主)からの申請に基づき、毎年9月1日現在で調整され、12月5日で確定となり、その後1年間(翌年12月4日まで)は据え置かれます。この選挙人名簿に登録されなければ、海区漁業調整委員の選挙の際、立候補も投票もできません。また、登録漏れになりますと、途中での追加登録はできませんので、次の内容を確認のうえ、期間内に申請してください。

▶申請者の要件

- ・満年齢が20歳以上(平成23年12月5日現在)であること。
- ・漁業者又は漁業従事者(世帯員等)であること。
- ・えりも町に住所又は事業場を有すること。
- ・1年に90日以上漁船を使用する漁業を営み又はこれに従事すること。

▶申請者の現在日 9月1日

▶申請期間 9月1日～9月5日

▶申請書提出先

えりも漁業協同組合
(申請書は窓口にあります)

▶問い合わせ先

えりも町選挙管理委員会 ☎2-2112



えりも勢大活躍

身体障害者スポーツ大会 **総合優勝**

全日本パークゴルフ選手権大会

男女とも**優勝**、**7人が入賞**



総合優勝のえりもチーム。高校生などもボランティアとして参加しました。



安定したショットを見せ、女子の部で優勝した安部昭子さん。

六月二十六日、日高管内身体障害者スポーツ大会が町民体育館で開かれ、管内八チーム二百十九人が参加した激戦の中を、見事えりもチームが勝ち抜き、総合優勝しました。大会は日高管内身体障害者福祉協会が主催したもので、えりも町での開催は七年ぶり。えりもチームは序盤にリードを許したものの終盤に追い上げ、逆転で優勝を飾りました。さらに、一週間後の七月三日に百人浜パークゴルフ場で開催したJALカップ全日本パークゴルフ選手権大会日高地区予選大会では、男子の部で木村基さん（新浜）、女子の部で安部昭子さん（新浜）が優勝しました。総勢八十六人の参加者の中からの優勝で、しかも、他にもえりも町から五人が入賞し、九月に雨竜町と北竜町で開かれる全道大会に進むことになりました。えりも勢の活躍に沸いた一週間でした。

子どもたちも大喜び

祭本舗 風舞のイベント「えりもの春（初夏）」には何かある!!

町内の青年イベントグループ「祭本舗 風舞」による恒例イベント「えりもの春（初夏）」には何かある!!」が六月二十六日、灯台公園で開催されました。今年も東日本大震災のチャリティイベントとして開かれ、各出店に募金箱が置かれ、さらに売上金の一部が被災者への寄付に充てられました。



毎年好評の子ども宝くじ。ステージ前には子どもたちが陣取った。

開催に先立ち、岩間典明代表は、「子どもたちの笑顔がえりもの宝。今日のイベントも子どもたちに喜んでもらいたい」と挨拶。えりも町民吹奏楽団が、震災の復興をテーマに「上を向いて歩こう」など三曲を演奏し、イベントが始まりました。毎回好評の「子どもジュース早飲み大会」には、二十人の子どもたちが友だちの声援を受けながら早飲みを競いました。終盤には大人だけの早飲み大会も行われ、マルデンの寺井祐也さんが見事優勝しました。引き続き、えりも鳴子会のヨサコイ

ソーランや玉子の無料配布、歌謡曲「襟裳岬」のカラオケ大会など、盛りだくさんの行事が行われ、終盤の風舞メンバーによるバンド演奏では、全四曲が披露されました。また、曲の合間に催された、「子ども宝くじ」では、番号くじを手にした子どもたちがステージ前に陣取り、自分の番号が呼ばれるのを心待ちにしていました。この日、集まった五万二千円の募金は、日本赤十字えりも分區を通じて七月六日に寄付されています。

松田忠徳教授講演会 東海大四高吹奏楽部特別演奏会

今年で設立四十周年を迎える
えりも町文化協会（嵯峨直樹会
長）が、温泉学の第一人者とし
て名高い松田忠徳教授の講演会
と全日本吹奏楽コンクールの常
連校である東海大学附属第四高
等学校吹奏楽部を招いての演奏
会をそれぞれ開催しました。

松田教授の講演は六月二十一
日、福祉センターで行われまし
た。「温泉を楽しみながら健康
になる」をテーマに自身の温泉
体験を交えながら、集まった五
十人の前で温泉の効能を楽しく
わかりやすく伝えました。

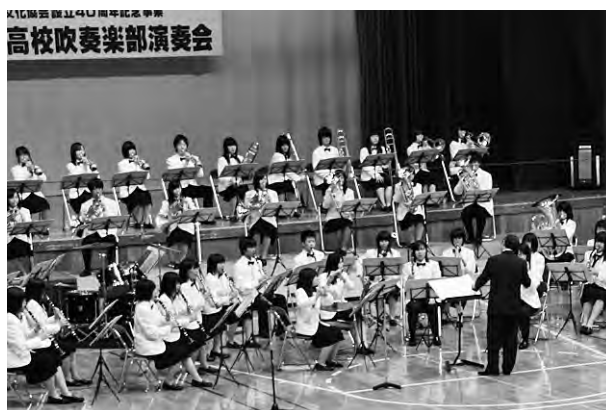
一方、雄大なサウンドが持ち
味の東海大四高吹奏楽部の演



「温泉教授」として知られる
松田忠徳さんの講演会

聴き入る観衆

文化協会設立40周年記念事業



東海大四高吹奏楽部による雄大なサウンドが観
客を魅了

奏会は、六月二十五日にえりも中学校
で開かれ、三百人が訪れました。
「夏は来ぬ」の演奏でオープニングを
飾り、バレエ音楽「白鳥の湖」や子猫
物語の「守る」など、なじみのある曲
で聴衆を惹きつけ、途中「襟裳岬」も
披露しました。
えりも中学校吹奏楽部と町民吹奏楽
団が加わった最後の合同演奏「ふるさ
と」では、総勢九十人の迫力ある演奏
が会場を沸かせました。

商工会青年部が町長と懇談会

七月一日、町商
工会青年部（佐藤
博久部長）が岩本
町長と二年ぶり二
回目の懇談会を開
き、えりも町の将
来像について話し
合いました。

懇談会に先立
ち、町長から灯台
公園記念塔の化粧
直しをした同青年
部に対し、感謝状
が贈られました。
佐藤部長は懇談会
の挨拶で「部員の
士気も上がる」と
話し、「地域の発
展のためにこれか
らも頑張りたい」と決意を
述べました。

懇談会では青年部各委員
会から活動報告がなされ、
その後、部員から活発な意
見が出されました。
商店街の空き店舗対策で
は、「後継者を希望する者
が全国の中にはいるはず

ただし、商工会や青年部、行
政などで盛り上げていけない
と難しい」「交流人口を増やす
ことに力を注ぐべきでは」な
どの意見が出されました。ま
た、「若い人が働く場がない」
ことや「漁業の後継者対策」
などにも話が及びました。
「風力発電」や「移住促進」
についての意見では、岩本町
長はこれらを進めている道内
各自自治体の事例を上げ、苦勞
している内情を話しました。
意見は途切れることなく続
き、懇談会は一時間半に及び
ました



活動報告をする青年部員

救助精度の向上を目指して

4救難所合同訓練大会

えりも漁協四救難所による合同訓練大会が六月二十四日に開かれ、総勢百五名の所員たちが救助精度の向上を図りました。

この日は雨のため、様似町冬島漁港から本町昆布倉庫に場所を移しての大会となりました。

訓練の一つ、救命索発射器操作では、号令と共に所員が機敏な動作で操作に当たり、来賓らから拍手が送られていました。



真剣に訓練に取り組む所員たち

終盤の「襟裳岬」では、大きな拍手が寄せられました。



札幌のファゴット奏者も参加

ウィンドアンサンブルがコンサート

七月三日、札幌ウィンドアンサンブルサマーコンサートが、福祉センターで開かれ、訪れた五十人の聴衆を豊かな音色で魅了しました。

同楽団は社会人や学生で構成され、年四、五回札幌を中心に演奏活動を行っています。この日は札幌交響楽団のファゴット奏者である夏山朋子さんもゲスト参加し、団員と共に十曲を演奏しました。

労働災害の撲滅に向けて

えりも建設協会安全大会



大会の前に行われた永年勤続優良従業員表彰

えりも建設協会（菊地竹勇会長）の安全大会が七月一日、福祉センターで開かれました。

大会では、三団体が講演し、このうち、浦河労働基準監督署の山田雅之署長が自身が体験した労働災害現場に触れながら、普段から対策を講じることが必要と話しました。

住民同士の協力が不可欠

社会を明るくする運動

七月十一日に、今年で六十一年目を迎える「社会を明るくする運動」の車両パレード出発式が役場庁舎前で行われました。

式では、浦河地区保護司会えりも分区長の川村一治さんが「住民同士が協力して犯罪の芽が育たないような社会と環境づくりが必要」と挨拶。

引き続き、大場泰博副分区長が法務大臣からのメッセージ



挨拶をする川村分区長

を岩本町長へ伝達しました。

パレードは、役場庁舎前から目黒に向けて出発し、その後、町内を周りまわりました。

第38回

えりもの灯台まつり

8月14日～16日



38回目を数える「えりもの灯台まつり」が、今年も8月14日から16日にかけて、灯台公園で開催されます。

今年も楽しいイベント盛りだくさん！ご家族、ご友人連れ立ってぜひ、足をお運びください

8月14日

- 13:00～13:30 えりも小学校鼓笛隊パレード
- 13:30～15:30 子ども輪投げ大会
- 18:00～18:45 海上安全祈願祭・点灯式
- 19:00～20:30 漁船海難遺児チャリティ漁港コンサート

8月15日

- 14:00～14:40 えりも中学校吹奏楽部・町民吹奏楽団演奏会
- 15:30～17:15 ビンゴゲーム大会
- 17:30～18:00 荒波太鼓
- 18:00～18:30 カラオケ同好会による発表会
- 18:30～19:00 郷土芸能（襟裳神楽・駒踊り）
- 19:00～19:30 よさこいステージ乱舞
- 19:30～20:00 歌謡ショー（平山さゆり）
- 20:00～20:30 花火大会
- 20:30～21:00 轟 カーニバル ライブ

8月16日

- 19:00～20:00 灯ろう流し



親子盆踊り会と 子どもお楽しみ会

日時 八月五日～七日

十八時三十分～二十時

※雨天中止。七日が雨天の場合は一日だけ順延します。また、八月七日はえりも町本町商店街協同組合主催の「七夕まつり」終了後から二十時三十分



までの開催です。

場所 灯台公園

内容 子ども盆踊り唄、北海盆唄、えりも観光音頭

※今年「出店」もあり
ます。

主催 えりも町市街地青少年育

成協会

問い合わせ先

事務局・教育委員会社会
教育係 ☎二一―二五二六

こんにちはは栄養士です

熱中症のピークは7～8月、
正しく理解し、予防に努め
ましょう

私たちは暑い時には汗をかいて体温を一定に保つ機能が備わっています。しかし、高温多湿などの過酷な環境が続き、調節機能が追いつかなくなることで、体内に熱がこもり、さまざまな症状が表れ熱中症に陥りやすくなります。室内にいる場合でも注意が必要です。曇り空で直射

熱中症の重症度分類

- I度 めまい、立ちくらみ、筋肉のこむらえり、拭いても拭いても汗が出る
- II度 血流が減り臓器がSOSを出している状態
頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感
- III度 体温調節機能が破綻している状態
けいれん、意識障害、高体温、呼びかけへの反応がおかしい

急に暑くなった日は特に注意!!
室内にいる時も注意が必要!!



熱中症予防法

～失う前に先取りして摂ろう 水分&塩分～

私たちの体は約半分が水分で占められています。1日に2～5%の水分が入り出りをしています。日常では1.5%を摂取目安としていますが、熱中症予防にはそれ以上の水分をこまめに摂りましょう。特に大量の発汗時は水分の他に塩分も失われているため、両方の補給が必要となります。一度にたくさん飲んでしまうと尿として排泄されてしまうので、小分けにして飲むのが理想的です。



★スポーツドリンクは、体液と同じ濃度に調整されていますが、糖分が多いので飲みすぎは注意

★食塩水（1%の水に1～2gの食塩を入れる）も効果的です
※ジュースは糖分が多く含まれています。飲みすぎは血糖値を急激に高めたり、肥満や食欲低下の要因となります。気をつけましょう。

日光がなくても、高温多湿、無風状態では熱中症の危険性が高まります。
八月になると昆布漁も最盛期を迎え野外で仕事をすると場面が多くなります。
水分補給と共に、帽子の着用や通気性の良い衣服、こまめな休憩を取り入れていきましょう。

8月の保健メモ

(連絡先 役場保健福祉課 保健予防係 ☎2-4630)

行 事	実施日	時 間	会 場
麻しん風しん混合予防接種	2日(火)、16日(火)	15:30～16:00	町立診療所 (要予約)
乳幼児健診	9日(火)	8:50～10:50	保健センター (個別通知)
日赤巡回診療	10日(水)、24日(水)	13:30～14:30	保健センター (要予約)
フッ素歯みがき教室①～④	18日(木)、22日(月) 25日(木)、29日(月)	13:15～14:00	保健センター (個別通知)
三種混合予防接種	23日(火)	13:30～13:50	保健センター
B C G 予防接種		13:50～14:00	保健センター
ヒブワクチン予防接種		14:00～14:30	保健センター (要予約)
小児用肺炎球菌ワクチン予防接種		14:30～15:00	保健センター (要予約)
二種混合予防接種	25日(木)	14:00～16:00	庶野診療所 (要予約)

●ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種を保健センターで希望する場合

接種日の前週金曜日までに保健予防係まで電話予約が必要です。

●庶野診療所 (☎4-2219)

三種混合・B C G・麻しん風しん混合・ヒブ・小児用肺炎球菌の個別予防接種

①実施日……毎週月・木曜日
14:00～16:00 ※要予約

●フッ素歯みがき教室は、上の前歯が生えている1歳未満のお子さんを受けられます。希望の方は保健予防係まで。

●浦河日赤病院 (☎0146-22-5111)

麻しん風しん混合予防接種

①小児科外来申し込み……1期 (1～2歳)・2期 (小学校入学前1年間の小児)・3期 (中学1年生の年齢に相当する者)

②医事課申し込み……4期 (高校3年生の年齢に相当する者)

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種
医事課にお申し込みください。

●広尾町かめだクリニック

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種を受けることができます。希望の方は直接お問い合わせください。
(☎01558-2-4724)



《おすすめ本》

謎解きはディナー
のあとで

東川篤哉 著

ミステリー界に新たなヒーロー誕生か？それは、国立署の新米刑事にして世界的な企業グループの総帥の娘という宝生麗子ではなく、その家の執事影山！

令嬢刑事と毒舌執事が難事件に挑戦するユーモアたっぷりのミステリー。

《一般書》

■もしドラえもん「ひみつ道具」が実現したら
藤野英人

■子育てハッピーアドバイス
イヌ大好き！が伝わる
ほめ方・叱り方？
明橋大二

■青の物理学

ピーター・ペジック

■一生切れない、詰まらない「強い血管」をつくる本
島田和幸

■いすゞ鳴る
山本一力

■苦役列車
西村賢太

《児童書》

■妖怪横丁
広瀬克也

■ふしぎなまちのかおさがし えほんのぼうけん
阪東 勲

■たこきちとおぼうさん
工藤ノリコ

■おたんじょうびのケーキちゃん
もとしたいづみ

■まほうの国のひみつのおともだち！！
藤 真知子

■しんぶんしであそんじゃおう！
いまいみさ

防災情報版 ⑩

地震予知はなぜ難しいか？

西

暦二〇三五年九月二日午前十時十分、茨城県水戸市で皆既日食が起きると「予知」されています。日食や月食などの天文学的現象は、いつ・どこで・どのくらいの規模で起きるか、ほとんど狂いなく極めて正確に「予知」することが可能です。一方、地震はどうでしょうか？大地震がいつ・どこで・どのくらいの規模で起きるか、ほとんどの場合「予知」することは不可能です。この違いは一体全体どこにあるのでしょうか？

違いは、日食や地震の奥に潜む「自然のからくり」を私たちがきちんと理解しているかないかにあります。日食は太陽と地球の間を月が通過する際に、月が太陽を覆い隠す現象であることが分かっています。そして、月や太陽や地球の動

き、十七世紀にイギリスで活躍した物理学者アイザック・ニュートン卿が確立した方程式によって、極めて正確に計算することができます。ところが、地震の場合はこれほど単純ではありません。地震は地下の岩盤が大きな圧力を受けて破壊する現象であるという大枠は分かっています。しかし、どの場所にどのくらいの圧力が実際に働いているのか正確に測定するのが大変難しいのです。この地下の圧力変化を時々刻々とらえることができれば、地震予知は大きく前進し、防災対策にも役立つのですが、今のところ不可能な状況です。

しかし、不可能だからと言って手をこまねいているわけには

いきません。病気を治療するために各臓器がどんな役割を果たしているのかという体内の基本構造を詳しく知る必要があるのと同様、地震学でも地球内部の構造をできるだけ詳しく知ることが予知につながるはず。特定の遺伝子やたんぱく質が病気と関係しているように、地下水やマグマの動きが地震と密接に関係しています。「急がば回れ」と言いますが、何がどのように関連して地震を引き起こすのか、病気の研究と同様、地震学者は現在、このような基礎的な「からくり」を明らかにするために全力を挙げて取り組んでいます。時間はかかりませんが、それが地震予知への一番の近道かもしれません。



勝俣 啓

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター・准教授、博士(理学)。東京大学地震研究所で学位取得後、北海道大学助手、東京大学准教授を経て2009年4月より現職。専門は地震予知学。

お知らせ



難病医療・福祉相談会

難病と思われるご病気でお悩みの方、医療費や生活問題でお困りの方はいませんか。難病医療・福祉相談会ではそのようなお悩みを難病専門医、相談員がお答えしています。

障がい福祉サービス利用に係る利用者負担が軽減されています

障害者自立支援法に基づく障がい福祉サービスは、原則としてその費用の割を利用者が負担することとされており、所得の状況に応じて利用者負担の上限月額が設けられています。

平成22年4月1日からは、生活保護世帯及び市町村民税非課税世帯における、障がい者や障がい児の障がい福祉サービス利用者負担上限月額が0円とされています。児童デイサービスや施設通所を検討されている方はぜひご参考願います。

なお、障がい福祉サービスの利用に際しては障がい程度区分認定を受ける必要がある場合があります。詳しくは、役場保健福祉課介護福祉係（☎2-4888）へお問い合わせください。

相談会当日は神経内科医（パーキンソン病などが専門）、内科医（リウマチや膠原病などが専門）、整形外科医（後縦靭帯化症などが専門）、リハビリ専門医が患者さんのお話を聞きし、診察いたします。また、医療ソーシャルワーカーによる障害年金や身体障害者手帳、医療費の相談コーナーもあります。

希望の方は事前のお申し込みが必要です。

- 日時 九月二十五日
- 受付時間 九時～十二時
- 会場 新ひだか町静内保健福祉センター
- 費用 無料
- 定員 四十名（受診の可否は九月二十日までに郵送でお知らせいたします）

ます）

●申込期間

八月二十二日から九月二日まで

●申込先

・浦河保健所

☎〇一四六―二二―三〇七一

・役場保健福祉課保健予防係

☎二―四六三〇

労災保険相談ダイヤル

厚生労働省では、労災保険相談ダイヤルを開設しました。労災保険に関するさまざまなご相談に応じます。お気軽にご相談ください。

●労災保険相談ダイヤル

☎〇五七〇―〇〇六〇三一

（月～金・九時～十七時）

青い羽根募金活動

社団法人北海道漁船海難防止・水難救済センターでは、救難所員の救助活動を支援するため、「青い羽根募金」への活動を呼びかけています。

●振込先

北海道信用漁業協同組合連合会

本店 普通預金 四二一七八七四

(社)北海道漁船海難防止・水難救済

センター 青い羽根募金口

理事長 山田邦雄



う え きれんすけ
植木蓮介くん
(紀喜・加奈恵)
H22.8.24生(本町)

よく食べ、元気で甘えん坊な男の子です。



とくなが り
徳永琉生くん
(眞志男・茉梨奈)
H22.8.23生(大和)

たまごボーロとお風呂が大好きです。毎日汗だくで動き回っています。



ありくら じゅんき
有倉準樹くん
(芳樹・千枝)
H22.8.4生(本町)

いつも一樹を見て目で追っています。時にはケンカをします。



ありくら かずき
有倉一樹くん
(芳樹・千枝)
H22.8.4生(本町)

お姉ちゃんが大好きです。いつも一緒に遊んでいます。

あつまれ！一歳児



「すくのび」は、「すくすくのびのび育て」の願いを込めたタイトルです。

ひだか馬の絵コンテスト

日高振興局では、「ひだか馬の絵コンテスト」の作品を募集中です。

●応募資格

日高振興局管内及び隣接地域（むかわ町、厚真町、安平町）

●応募形式

画用紙でサイズはA四以上四つ切りまで。画材は自由。用紙の向きはタテ、ヨコどちらでも構いません。応募は一人一点です。

●締切

十月三十一日まで

●問い合わせ先

子育てテレホンサービス

【小学生期】

ゆがんだ性的関心をもつ子ども 8/10～8/17

【中学生期】

父母の教育上の不一致 8/18～8/24

【親の学習】

朝の目覚めを良くするためには 8/25～8/31

【幼児期】

赤ちゃんの食事 その2 9/1～9/7

☎ 2-3715

日高振興局地域政策部地域政策課
☎ 〇一四六―二二―一九〇七七

道障害者職業能力開発校

入校前の適性相談

国立北海道障害者職業能力開発校では、求職中の障がい者の入校前適性相談を実施します。

●実施期間

平成二十四年三月十五日まで

●お問い合わせ先

国立北海道障害者職業能力開発校
☎ 〇一二五―五二―二七七四

●弁護士相談

弁護士相談センターでは、次のとおり相談を受け付けています。相談には予約が必要です。

▼浦河相談所

八月八日 十三時～十六時

▼静内相談所

八月十・十七・二十二・二十四、二十九・三十一日、九月五日・七日
十三時三十分～十六時三十分

■予約受付

月～金曜日 十時～十六時
☎ 〇一四六―四二―八三三七



試歩^{しほ}少し遠くなりたる遅日^{ちじつ}かな
逃^{にげ}げ水の行^いく^て遠のく日高嶺
海^{うみ}よりの風^{かぜ}に身を置きタンポポ野
山^{やま}芹^{せり}の赤^{あか}き根^ねに触^ふれ水^{みづ}奔^{はし}る
雨^{あめ}の中黙々と摘^とむ初^{はつ}わらび
怖^{おそ}いもの見た^みたさの鼠^{ねずみ}花^{はな}火^かかな

小山内栄峰
姥名 渚
川村 和子
佐々木蓉子
佐々木凌子
鈴木 周子

(えりも吟社)

♡厚志に感謝します



さほらあおい
佐原彩生ちゃん
(幸哉・しのぶ)
H22.8.24生(大和)

遊ぶことが大好きで、
毎日動き回っている
元気な子です。

- 福島安幸さん(近浦) 近浦自治会へ 三万円
- 高瀬均さん(帯広市) やまと苑へ 二万円
- えりも漁協近笛女性部 やまと苑へ フェイスタオル四十枚・ウエス他 二万円
- えりも漁協庶野女性部 やまと苑へ フェイスタオル九十枚・バスタオル他 二万円
- 渋田悦さん(新浜) 新浜自治会へ 五万円
- 新浜老人クラブへ 二万円
- えりも町身体障害者福祉協会へ 二万円
- 大沢信子さん(歌別) 歌別老人クラブへ 三万円
- ★社協のボランティアセンターへ
- 立石俊雄さん(浦河町) 一万円
- 淡路静子さん(歌別) 三万円
- 渋田悦さん(新浜) 三万円

人のうごき

(平成23年6月30日現在)

近浦	180人	67世帯
笛舞	298人	120世帯
大和	1,067人	453世帯
本町	925人	413世帯
新浜	678人	298世帯
歌別	379人	143世帯
東洋	413人	136世帯
えりも岬	565人	207世帯
庶野	730人	271世帯
目黒	174人	76世帯
合計	5,409人	2,184世帯
(男 2,691人 女 2,718人)		
転入	2人	転出 6人
出生	0人	死亡 4人

税の納期

◆国民健康保険税 第2期
(納期限 平成23年8月31日)

8月の風の館の行事

- 6日 貝殻のモバイル作り体験 (14時～/～7日)
- 9日 アンモナイト研磨体験と化石の話 (14時～)
- 10日 流木で動物を作ろう! (14時～/～11日)
- 12日 海の生き物タッチプール (8時30分～/～13日)
クロマツの間伐材でバッチを作ろう! (14時～/～14日)
- 20日 ビーチグラスでオリジナル写真を写真立てを作ろう! (14時～/～21日)
- 27日 小学生夏休み作品展・えりも小学校 (8時30分～/～9月2日まで)

昨年の夏休み作品展



くみ取りは、余裕をもって申込みを

8月から施設工事

日高東部衛生組合衛生センターでは、し尿処理施設内の工事に伴い、八月二十日から十一月中旬までの間、し尿等の受入調整をします。

そのため、トイレのくみ取りについては、申し込みをしてから多少お待ちいただくこともありますので、余裕を持ってお申し込みをしてください。

また、浄化槽の清掃についても、例年と時期がずれる場合がありますのでご了承ください。

■問い合わせ先
日高東部衛生組合事務局
☎〇一四六一二六〇九〇〇一

社会生活基本調査が行われます

総務省では、国民の社会生活の実態を明らかにし、わたしたちが「より良い暮らしと社会」を得るために社会生活基本調査を行います。

無作為に選ばれた地域にお住まいの世帯について、日々の仕事や学業、家事などに費やす時間や、過去一年間の自由時間に行った活動について調査します。

九月から調査員がお伺いします。調査票へのご理解

保健師の募集

町では、来年四月一日採用の保健師を募集しています。

- 採用年月日
平成二十四年四月一日
- 採用人数 一名
- 採用時要件
三十歳未満で保健師免許取得又は取得見込みの方
- 応募方法
北海道国民健康保険団体連合会を經由しての募集です。詳細は、同連合会総務部保健事業課保健活動支援係にお問い合わせください。

☎〇一四六一二六〇九〇〇一

▼問い合わせ先
企画課振興係 ☎二一四六一二

とご協力をお願いします。

8月の行事

- 3日 わらしやんど自然体験(庶野/5日)
- 4日 運転免許証更新時講習(福祉センター/優良13時/13時30分・一般14時/15時)
- 5日 「バイクの日」交通安全啓発(襟裳岬駐車場/10時20分)
- 14日 親子盆踊り会・子ども楽しみ会(灯台公園/18時30分/7日)
- 20日 えりもの灯台まつり(6日)
- 20日 わらしやんど自然体験(町内/9時)
- 28日 えりもオータリークラブ少年野球大会(スポーツ公園/9時)